申述書（児童手当用）

（該当する項目の□にチェックしてください。）

１　家計の主宰者（＝生計を維持する程度の高い者）であることの申述

□　私は、配偶者より□前年□前々年の所得が高く、家計の主宰者です。

□　私は、配偶者より□前年□前々年の所得が高くありませんが、次の理由により、家計の主宰者です。

（理由）□　①　児童の扶養手当を受給している。

□　②　児童が税控除や健康保険の扶養親族となっている

□　③　児童の属する住民票の世帯主である

※　上記①～③以外の理由がある場合は、家計の主宰者であることがわかる具体的事実を以下に記載してください。

□⑶　私は配偶者と離婚協議中のため別居（住民票上世帯分離している場合を含む）し、児童は私と同居しています。私と配偶者に生計関係はありません。

　※　この選択肢は、単に配偶者が単身赴任していて、父母間で金銭のやり取りがないだけでは選ぶことはできません。

　　　※　離婚協議中以外の理由で別居している場合は以下に理由を記載してください。

（理由）

２　児童手当の受給状況に関する申述

□　私は、市区町村から児童手当を受給しておらず、配偶者は児童手当を受給していません。

３　配偶者の被扶養者としての状況

□　私は、配偶者を□前年□前々年の１月１日から引き続き裁判所共済組合の被扶養者としています。

４　児童と別居している場合の申述

□　私は、次の理由により、請求書（又は現況届）記載の児童と同居していません。

（理由）□仕事の理由により単身赴任しているため

□その他（具体的に記入してください。）

令和　　　年　　　月　　　日

認定権者　殿

請求者（受給者）氏名